

## 麻生区区民会議 第2回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

1 開催日時：平成24年11月13日（火）午後4時15分～午後5時20分

2 開催場所：麻生区役所第4会議室

3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]

加賀美委員、梶委員、村主部会長、高倉副部会長、高瀬委員、田中委員、  
長谷川委員、吉田委員（久保倉、横山委員は欠席）

[事務局]

安生企画課課長、白石担当係長、佐伯、小田

4 傍聴者 なし

5 議 事

(1) 調査審議課題の選定等について

部会前の勉強会を受けて、調査審議課題の協議を行った。

【決定事項】

- ・資料3「大地震から助かる命を守る」ための具体策検討シートに各自が記入して提出、それを基に調査審議課題の協議を進める。

【主な意見】

① 地震の設定（対象災害）

- ・最大震度：震度6強～6弱、火災件数：20件（川崎市直下地震）
- ・発生時間：冬、平日、18時

② 検討の内容について

- ・人が亡くなるケースに合わせて対策を検討する。個別事情を考慮した対応が必要。
- ・阪神淡路の地震の際、死亡者の9割は建物倒壊などが原因だった。東日本大震災より、阪神の震災の方が、麻生区で考えられる地震・被害の想定に近い。
- ・最悪の状態を想定した対策検討を行うべきだが、どこまで個別ケースを想定するか。
- ・地域により被害状況に差もでる。その違いを考慮する。
- ・帰宅困難者への対応では、区内へ戻る人・区内から戻る人がいる。
- ・自助を中心とする検討を進める。まず自助を、次に共助を（地区内での救命）
- ・近所での助け合いが重要。
- ・消火の際、消火栓の確保が重要になるが、特殊な器材がなければ開けることができない。  
（初期消火に対する備え）

③ 事前の対策について

- ・公助では数千人の被害を数人に減らすことはできるが0にはできない。想定されている被害者数を、区民自らの手で0にする。自分達で自分の命を守るしかない。一人も亡くならない対策を進める。

(2) その他

① 区民会議交流会の連絡

**【説明事項】**

- ・事務局より平成24年度区民会議交流会について説明

② 次回安全・安心のまちづくり部会について

- ・日時：平成24年12月11日（火）15:00～
- ・議題：調査審議課題について など

- ・1月開催の部会の開催日時は、次回部会で決定する。

以上